

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 7 No 01

6 6 号

平成11年 1月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

謹賀新年



今年もよろしく、
お願い致します。

あけまして おめでとう ございます

皆さん、昨年はどんな一年だったでしょうか。さまざまな出来事がありました。経済面では、明るい話題は少なく景気の回復の兆しが見えてきません。

健康の方は、いかがだったでしょうか。あまり病気にならなかった子もいれば、長く咳や熱が続いたり、入院などおあわてしたお母さんたちもいたことでしょう。

最近友人や家族から働き過ぎという指摘を受けています。診療が忙しいにもかかわらず、様々な役職で夜の会議、お母さんクラブ、ホームページと、確かに忙しい毎日です。また小生は兎年の年

1月のお知らせ

- ・ 1才6ヶ月検診の休診

1月19日(火) 14:00

~ 16:30まで、休診になります。

健診、予防接種はありません。

- ・ 栄養育児相談

毎週水曜日 13:30 ~ 14:30

栄養士担当、無料

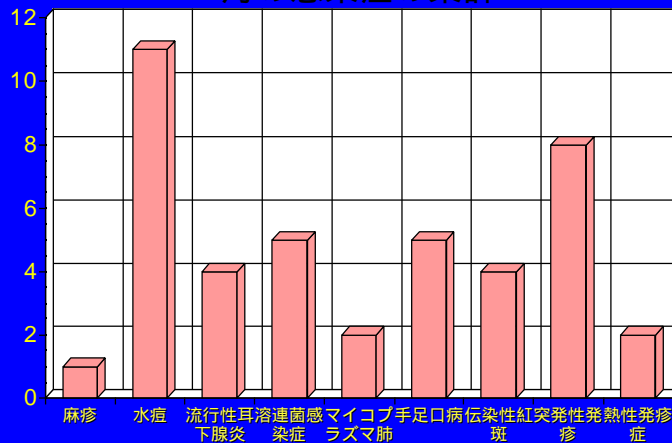


男です。兎のように跳びはねてばかりでは、亀に負けてしまうこともあります。今年は全てに余裕を持った生活を目指そうかと思っています。



と言いながら、今年も何か新しいことに挑戦していきたいと思っています。いつの間にか、当院も2月20日で、6年になります。いつも新聞に“漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。”と書いています。さて今年は何が出来るか、今考えているところです。お母さんたちも子どもたちのため、何か一つ新しいことに挑戦することもよいかもしれません。

12月の感染症の集計



先月は久しぶりに麻疹の子どもがいました。その後の流行はないようです。マイコ肺炎、溶連菌感染症、季節外れの手足口病まで、様々な感染症が見られました。水痘は少し増加傾向でしょうか。このグラフには載せていませんが、嘔吐下痢を伴うウイルス性胃腸炎が比較的多くみられています。しかし明らかなインフルエンザは、今のところありません。

年賀状ありがとうございました

今年も多く年賀状を頂きありがとうございました。本来は御返事を差し上げるのですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同

スタッフから一言

あけまして おめでとう ございます

兔のようにピョンピョン跳ね過ぎず、落ちついて皆様に気配りができるような努めたいと思います。 中 米

1999年世紀末、予言がはずれることを祈って。みんないい年になりますように。今年もよろしくお祈りいたします。 明 石

今年の目標“自分に厳しく他人に優しく”。いろいろな面で成長していきたいです。充実した1年になりますように。 三 浦

1999年を迎えまだまだ未熟者ですが、笑顔を忘れずがんばっていきたくと思いますので、今年もよろしくお祈りいたします。 乳 井

今年も、よろしくお祈りいたします。

読者の広場

お母さんクラブのクリスマス会が、12月17日(木)に開催されました。45組の参加があり、総勢で100名を越えました。赤鼻のトナカイのペープサート(大きな紙人形による劇)、お母さん子ども達の有志による歌と踊り、スタッフのアンパンマンの歌と踊り、お母さんのカラオケ(たった一人で残念でした)、お楽しみ抽選会、かわむらこどもクリニック カルトQ&A(都築さん達)など、盛りだくさんでした。少し時間が短かったのですが、お母さんもお子さんも十分楽しめたことだと思います。いろいろな点で準備にも時間がかかり、また景品や賞品と個人的に負担していただき、本当にありがとうございました。お楽しみ抽選会の1等の副賞何だったと思います。先生とデュエットできるといことでした。本当はありがたくなかったのではと思っています。このようなレクリエーションはやはり楽しいものです。お母さんクラブの活動の一つとして、これからも開催するようにしたいと思います。



12月26日突然午後休診で、御迷惑をおかけしたことをまずお詫びします。実情が不明で電子メールで、つぎのような苦情が入っていました。予防接種の予約の対応が不十分だったことに加え、「(略)先生のお体のご都合もよく分かりますが、なんだか、やっぱり腑に落ちないのは私のわがままなんでしょうか?。今は育休中で家にほとんどのいるからいいんですけども仕事をしていて、こんなことがあったらやっぱり困りますよね。(中略)ちょっと、文句を言いたくなりメールを出してしまいました。でも、先生のお体の都合もよく分かります。どうぞお大事になさってください。」また逆に26日午前中に受診した患者さんからは、「先生、今日はとても調子が悪そうだったのに、診察していただいてありがとうございます。どうぞ早く元気になって下さい。今日は1日大変だと思いますが、がんばって下さい。」など、心配の投書を何通もいただきました。実はこんな経過だったのです。25日の深夜突然腹痛に襲われました。夜間に急病診療所で強力な鎮痛剤を打ってもらいましたが改善なく、オープン病院で一晩中激痛と闘いながら点滴をしていました。一睡もできず入院を勧められましたが、翌日の診療もあつたため無理矢理朝帰宅しました。腹痛は多少治まったのですが、診療中から再び激痛と嘔吐が始まり、冷や汗をたらしながら休み休み何とか午前中の診療は終えました。しかしあまりの痛みでやむなくオープン病院に再度受診、再び点滴が始まりました。先生には診療などするからと叱られてしまいました。強力な鎮痛剤でも痛みが取れないため、麻薬まで使用しました。その日は一日中点滴で半分入院の状態でした。小生も人間です。普通の体の都合で休診などはしたことはありません。40度の熱が出て、鎮痛剤を飲んで、休まずに仕事をしてきました。しかし前の一晩中激痛で一睡もできず、麻薬を使わなければ取れない痛みでは、どうしようもありません。普通の人ならば25日の夜そのまま入院です。小生は医師のため無理矢理次の日の診療を理由に帰れたのです。事故と同じだったのです。この件で迷惑をおかけしたことは確かです。申し訳ありませんでした。特に大病気ではなく、単なるたちの悪い腸炎だったのです。今は全く、快調です。御心配いただきありがとうございます。

また点滴をしている最中に針を見て泣きだす子にと、アンパンマンの点滴腕隠しカバーを泉区の都築さんから頂きました。少しは子ども達の、気も紛れるかもしれません。投書頂きましたが、耳で測る体温計、以前より準備しています。使われる方は受付まで。

編集後記

また新しい年が来てしまいました。この一年何かできたかなの、気持ちです。これからインフルエンザ流行するかもしれません。予防するよう心がけましょう。

